

水俣市民意識調査（アンケート）

集計結果報告書

（概要版）

慶應義塾大学 環境情報学部

准教授 植原 啓介

## 1 アンケートの趣旨

本アンケートは、「知」の連携を進め、新しい価値を創造し、まちづくり及び教育・研究活動の発展を図ることを目的に、平成27年2月に水俣市と慶應義塾大学との間で締結した連携・協力に関する協定に基づき、水俣市及び九州大学工学研究院都市システム工学講座馬奈木主幹教授の協力の下に実施したものです。

## 2 実施内容

- ・ 一般的な市民の意識調査（住みやすさ、交通の便、家庭行事、食事など）
- ・ 一般的な健康・福祉に関する調査（健康増進意識、子育てのしやすさなど）
- ・ 教育に関する調査（塾通い、課外活動、通学時間など）
- ・ 産業に関する調査（産業誘致など）
- ・ 防災・防犯に関する調査（避難所の認識、避難袋の準備状況など）
- ・ 環境に関する調査（環境意識、ゴミの量、ゴミ分別の負担など）

3 実施主体 慶應義塾大学環境情報学部 植原研究室

4 協力機関 水俣市・九州大学

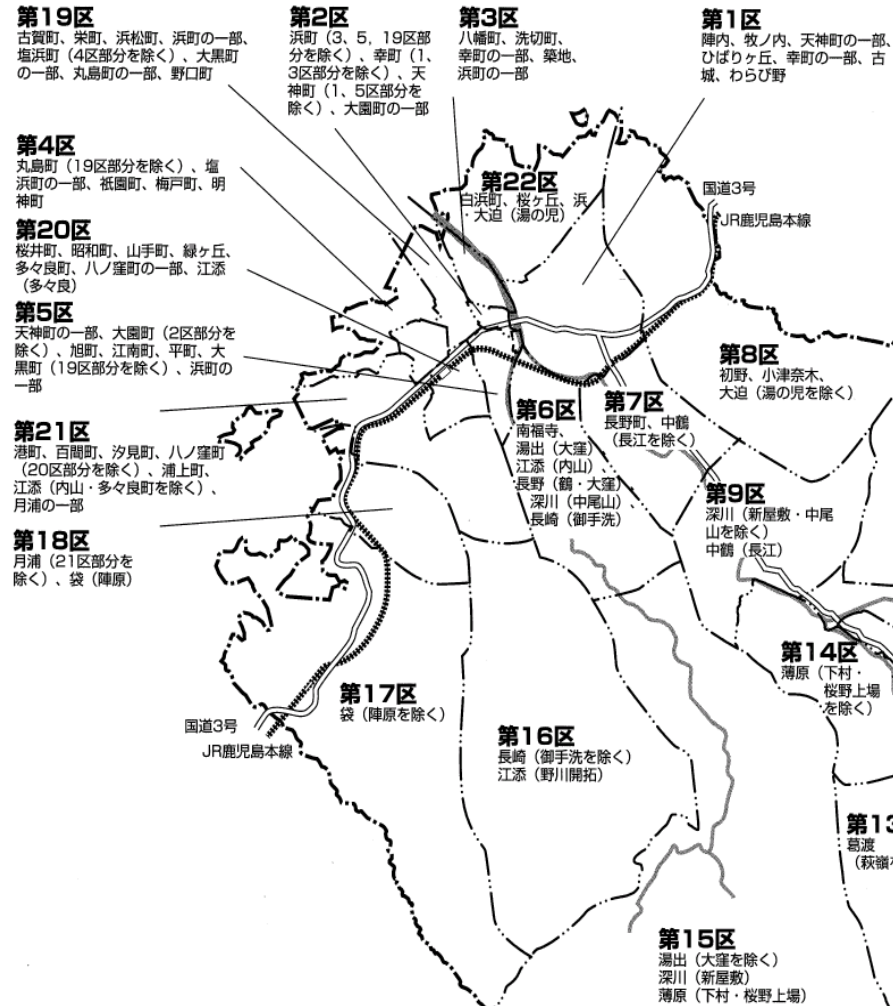
5 調査時期 平成28年12月～平成29年1月31日

6 調査対象 全戸調査（11,891世帯）

7 回収数 4,222世帯

8 回収率 36%

図 地区割り

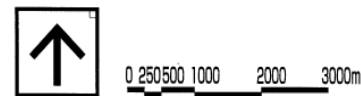


(アンケート上の地域区分)

市街地: 1区、2区、3区、4区、5区、19区、20区、21区、22区

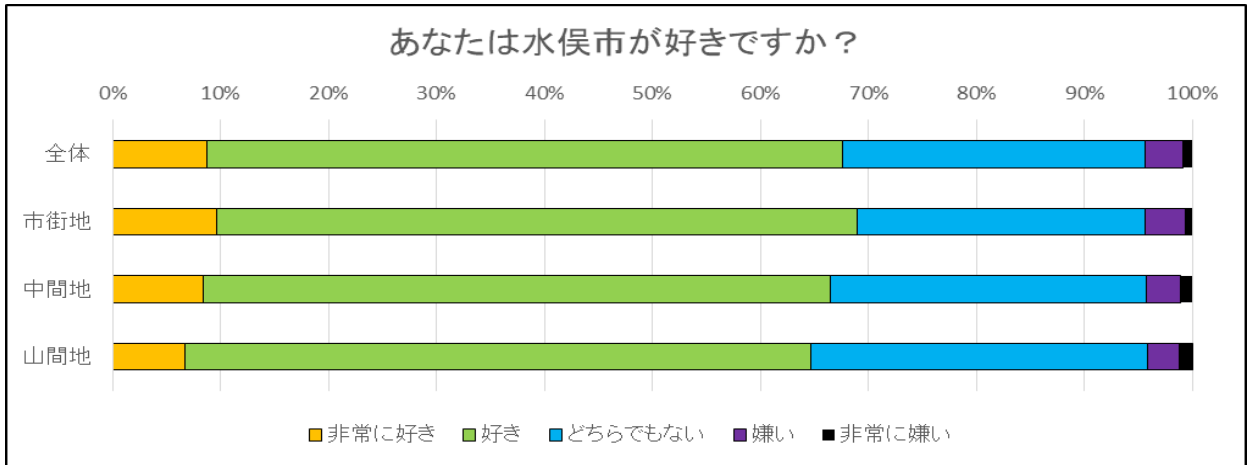
中間地: 6区、7区、8区、17区、18区

山間地: 9区、10区、11区、12区、13区、14区、15区、16区、23区、24区、25区、26区



# 質問

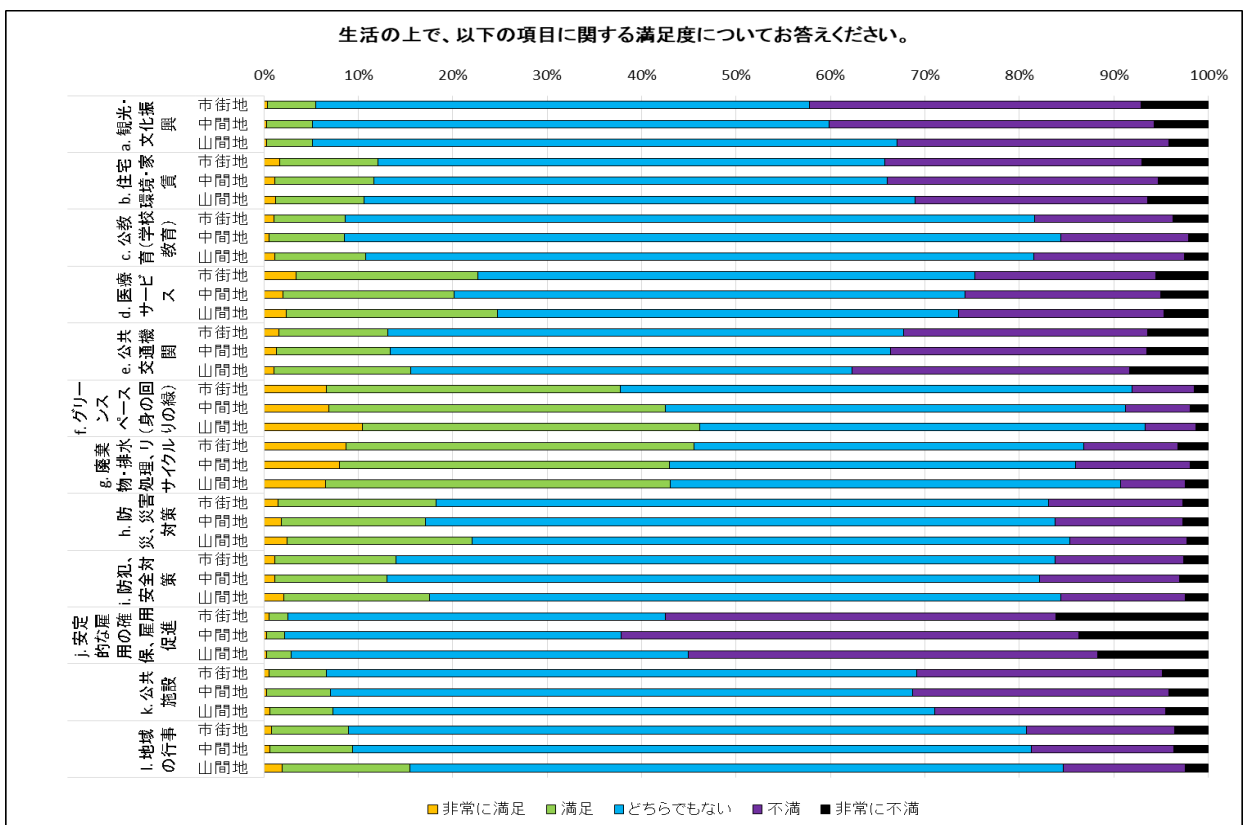
## 1 あなたは水俣市が好きですか？



全体の67.6%の世帯が、水俣市のことを「非常に好き」又は「好き」と感じており、山間地よりも市街地の方がその傾向が若干高い結果となりました。一方、「嫌い」「非常に嫌い」と答えた世帯は全体の4.4%でした。

## 2 生活の上で、以下の項目に関する満足度についてお答えください。

- 観光・文化振興
- 住宅環境・家賃
- 公教育(学校教育)
- 医療サービス
- 公共交通機関
- グリーンスペース(身の回りの緑)
- 廃棄物・排水処理、リサイクル
- 防災、災害対策
- 防犯、安全対策
- 安定的な雇用の確保、雇用促進
- 公共施設
- 地域の行事



**(観光・文化振興)**

「非常に満足」「満足」と答えたのは全体の5.4%であり、40.2%の世帯が「不満」「非常に不満」と感じているという結果でした。「どちらでもない」という世帯は全体の54.4%でした。

**(住宅環境・家賃)**

「非常に満足」「満足」と答えたのは全体の11.7%であり、33.7%の世帯が「不満」「非常に不満」と感じているという結果でした。「どちらでもない」という世帯は全体の54.6%でした。

**(公教育(学校教育))**

「非常に満足」「満足」と答えたのは全体の8.9%であり、11.7%の世帯が「不満」「非常に不満」と感じているという結果でした。「どちらでもない」という世帯は全体の73.3%でした。

**(医療サービス)**

「非常に満足」「満足」と答えたのは全体の22.4%であり、25.3%の世帯が「不満」「非常に不満」と感じているという結果でした。「どちらでもない」という世帯は全体の52.3%でした。

**(公共交通機関)**

「非常に満足」「満足」と答えたのは全体の13.6%であり、33.5%の世帯が「不満」「非常に不満」と感じているという結果でした。「どちらでもない」という世帯は全体の52.9%でした。また、山間地ほど不満と感じている世帯の比率が高い傾向がありました。

**(グリーンスペース(身の回りの緑))**

「非常に満足」「満足」と答えたのは全体の40.3%であり、8%の世帯が「不満」「非常に不満」と感じているという結果でした。「どちらでもない」という世帯は全体の51.7%でした。

**(廃棄物・排水処理、リサイクル)**

「非常に満足」「満足」と答えたのは全体の44.5%であり、12.8%の世帯が「不満」「非常に不満」と感じているという結果でした。「どちらでもない」という世帯は全体の42.7%でした。

**(防災、災害対策)**

「非常に満足」「満足」と答えたのは全体の18.5%であり、16.4%の世帯が「不満」「非常に不満」と感じているという結果でした。「どちらでもない」という世帯は全体の65.1%でした。

**(防犯、安全対策)**

「非常に満足」「満足」と答えたのは全体の14.3%であり、16.5%の世帯が「不満」「非常に不満」と感じているという結果でした。「どちらでもない」という世帯は全体の69.1%でした。

**(安定的な雇用の確保、雇用促進)**

「非常に満足」「満足」と答えたのは全体の2.5%であり、58.3%の世帯が「不満」「非常に不満」と感じているという結果でした。「どちらでもない」という世帯は全体の39.3%でした。

**(公共施設)**

「非常に満足」「満足」と答えたのは全体の6.9%であり、30.7%の世帯が「不満」「非常に不満」と感じているという結果でした。「どちらでもない」という世帯は全体の62.5%でした。

**(地域の行事)**

「非常に満足」「満足」と答えたのは全体の10.2%であり、18.5%の世帯が「不満」「非常に不満」と感じているという結果でした。「どちらでもない」という世帯は全体の71.3%でした。

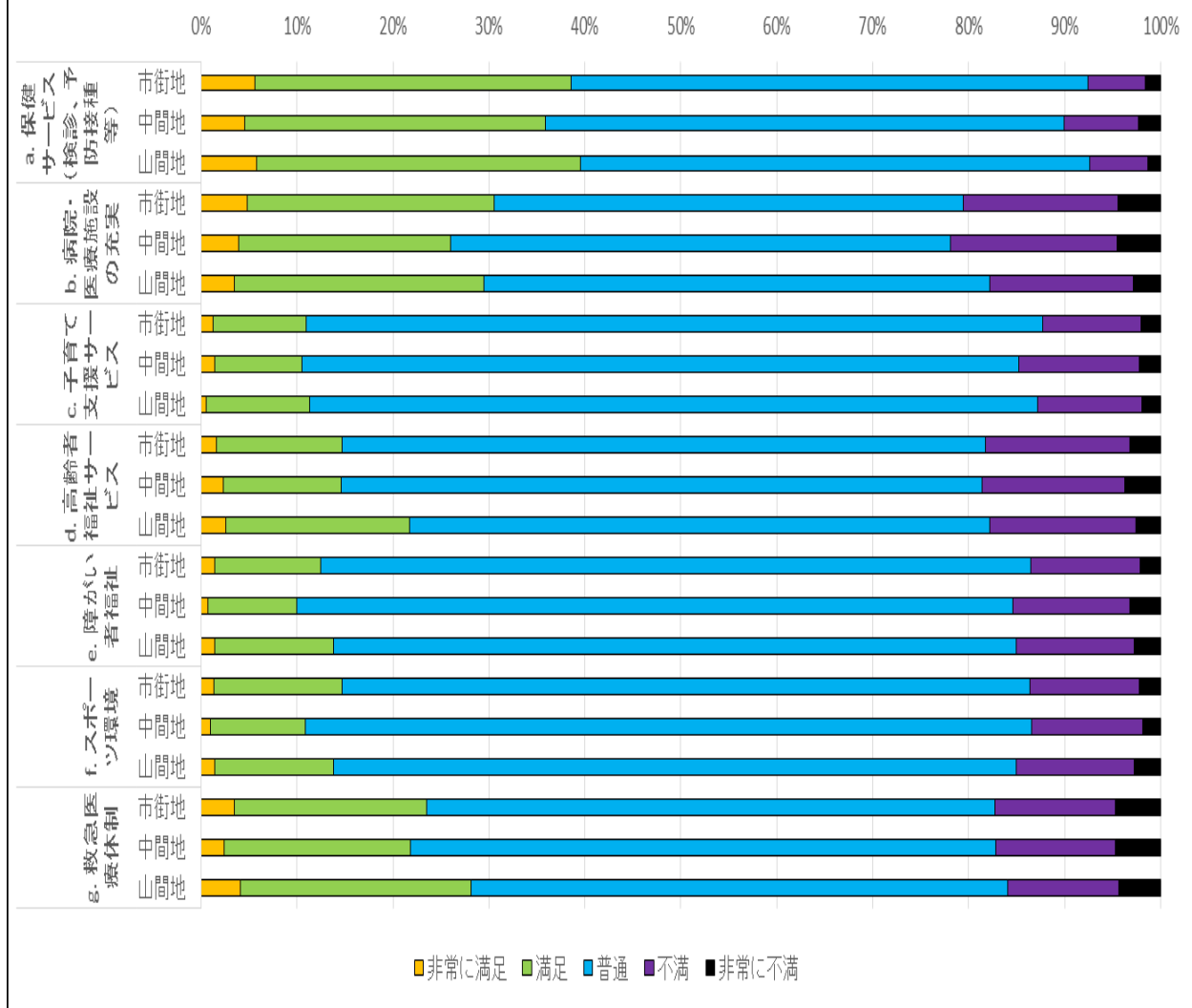
**【総評】**

ほぼ半数以上の世帯が「どちらでもない」と答えている中で、自然環境、ごみ処理等に対する満足度は比較的高く、観光・文化振興、住環境、雇用環境等に対する満足度が比較的低かったことから、環境面での取組については一定の評価がされている一方、観光、住環境、経済面での取組についての評価が低いことがうかがえます。

**3 以下の項目に関する満足度についてお答えください。**

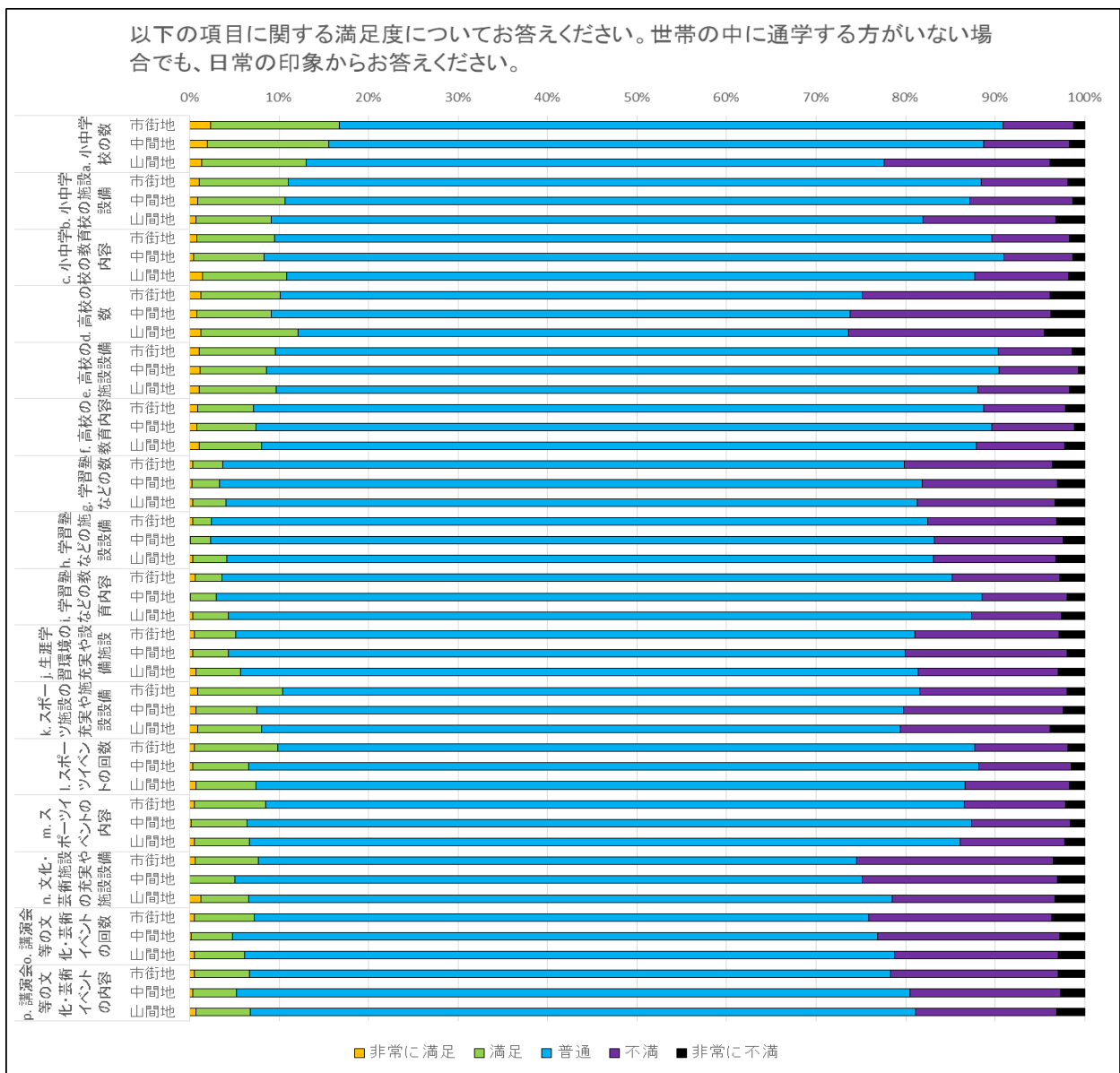
- a. 保健サービス(検診、予防接種等)
- b. 病院・医療施設の充実
- c. 子育て支援サービス
- d. 高齢者福祉サービス
- e. 障がい者福祉
- f. スポーツ環境
- g. 救急医療体制

以下の項目に関する満足度についてお答えください。



どの項目も半数以上の世帯が「普通」と答えた中、「非常に満足」「満足」と答えた世帯を見ると、保健サービスが38%、病院・医療施設の充実が29.2%、救急医療体制が23.9%と比較的高い結果でした。一方、「不満」「非常に不満」と答えた世帯は、病院・医療施設の充実が20.4%、高齢者福祉サービスが18.3%、救急医療体制が17%という結果でした。全体的に、保健医療体制に満足している世帯は比較的多く、子育て、福祉、スポーツ環境については、満足している世帯が少ないことがうかがえます。

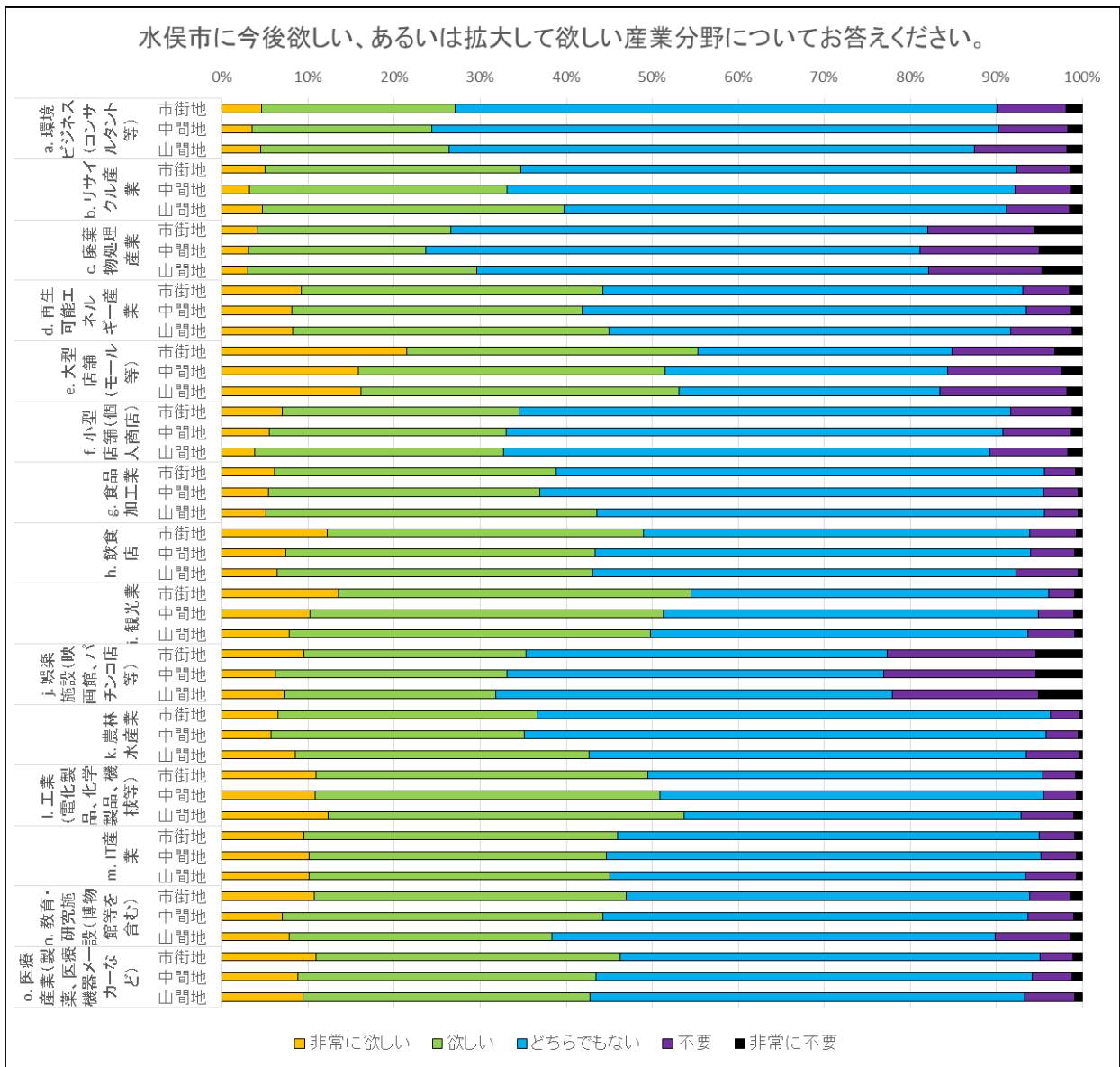
- 4 以下の項目に関する満足度についてお答えください。世帯の中に通学する方がいない場合でも、日常の印象からお答えください。
- 小中学校の数
  - 小中学校の施設設備
  - 小中学校の教育内容
  - 高校の数
  - 高校の施設設備
  - 高校の教育内容
  - 学習塾などの数
  - 学習塾などの施設設備
  - 学習塾などの教育内容
  - 生涯学習環境の充実や設備施設
  - スポーツ施設の充実や施設設備
  - スポーツイベントの回数
  - スポーツイベントの内容
  - 文化・芸術施設の充実や施設設備
  - 講演会等の文化・芸術イベントの回数
  - 講演会等の文化・芸術イベントの内容



70%から80%の世帯が、ほとんどの項目で「普通」と答えた中、「非常に満足」「満足」と答えた世帯の比率が最も高かった項目は「小中学校の数」で全体の15.9%でしたが、山間地においては、「小中学校の数」に不満を感じている世帯が他の地域の倍近くありました。一方、「不満」「非常に不満」と答えた世帯の比率が比較的高かった項目は、「高校の数」が25.4%、「文化・芸術施設の充実や施設設備」が24.7%、「講演会等の文化・芸術イベントの回数」が23.4%でした。また、「学習塾」の数、設備、内容等に対する満足度が低いことがわかります。

5 水俣市に今後欲しい、あるいは拡大して欲しい産業分野についてお答えください。

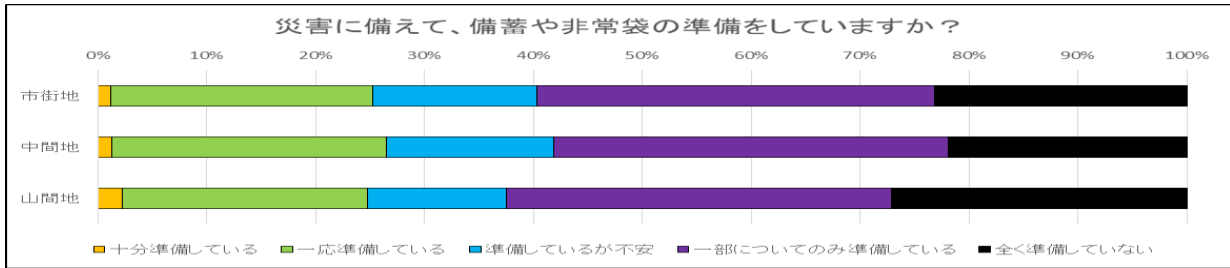
- a. 環境ビジネス(コンサルタント等)
- b. リサイクル産業
- c. 廃棄物処理産業
- d. 再生可能エネルギー産業
- e. 大型店舗(モール等)
- f. 小型店舗(個人商店)
- g. 食品加工業
- h. 飲食店
- i. 観光業
- j. 娯楽施設(映画館、パチンコ店等)
- k. 農林水産業
- l. 工業(電化製品、化学製品、機械等)
- m. IT産業
- n. 教育・研究施設(博物館等を含む)
- o. 医療産業(製薬、医療機器メーカーなど)



「非常に欲しい」「欲しい」と答えた世帯が多かったのは、「大型店舗(モール等)」が54%、「不要」「非常に不要」は15.5%、「観光業」が53%、「工業(電化製品、化学製品、機械等)」が50.5%という結果でした。一方、「不要」「非常に不要」と答えた世帯が比較的多かった項目は、「娯楽施設(映画館、パチンコ店等)」が22.7%、「廃棄物処理産業」が18.2%でした。また、「どちらでもない」と答えた世帯が最も多かったのは「環境ビジネス(コンサルタント等)」で63.4%でした。ほとんどの項目で、「不要」「非常に不要」と答えた世帯の比率は低く、一定の要望があることがうかがえます。



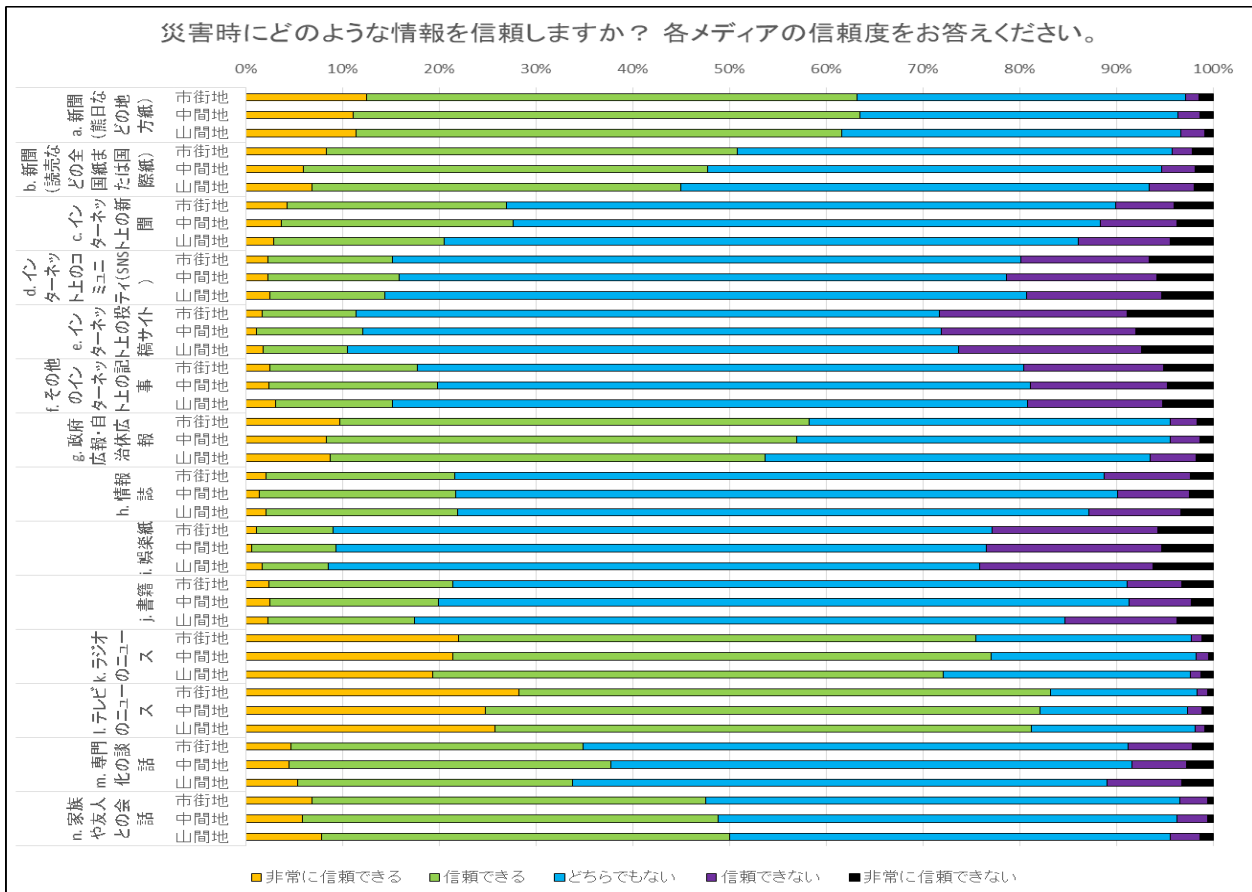
## 6 災害に備えて、備蓄や非常袋の準備をしていますか？



全体で見ると、「十分準備している」「一応準備している」と答えた世帯が25.5%、「準備しているが不安」と答えた世帯が59.8%、「一部についてのみ準備している」世帯が36.2%、「全く準備していない」世帯が23.6%という結果で、70%以上の世帯が何らかの準備をしていることがわかります。

## 7 災害時にどのような情報を信頼しますか？ 各メディアの信頼度をお答えください。

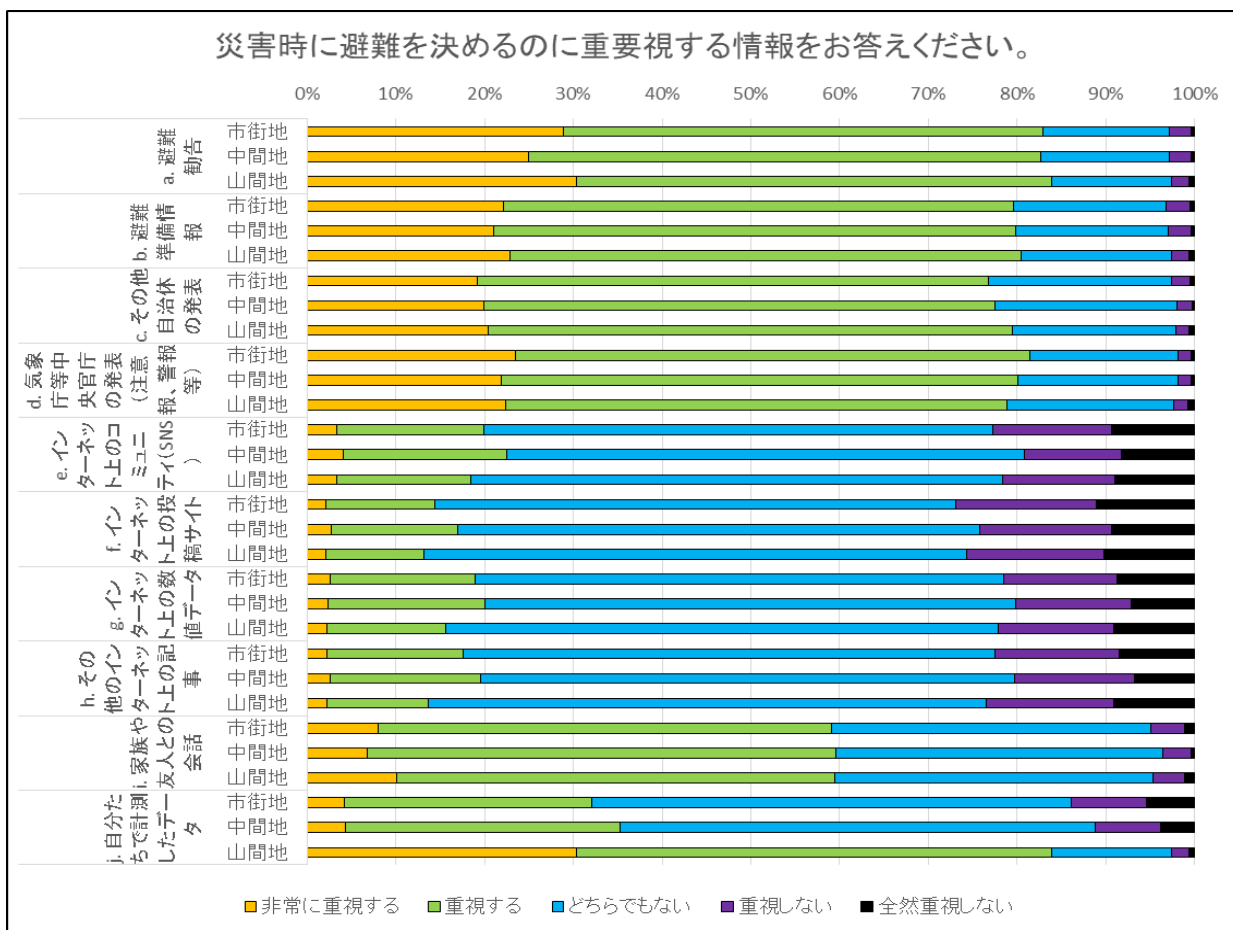
- 新聞(熊日などの地方紙)
- 新聞(読売などの全国紙または国際紙)
- インターネット上の新聞
- インターネット上のコミュニティ(SNS)
- インターネット上の投稿サイト
- その他のインターネット上の記事
- 政府広報・自治体広報
- 情報誌
- 娯楽紙
- 書籍
- ラジオのニュース
- テレビのニュース
- 専門家の談話
- 家族や友人との会話



「非常に信頼できる」「信頼できる」と答えた世帯が多かった項目は、「テレビのニュース」が82.6%、「ラジオのニュース」が75.3%、「新聞(地方紙)」が63%でした。一方、「信頼できない」「非常に信頼できない」と答えた世帯が比較的多かった項目は、「インターネット上の投稿サイト」が27.9%、「娯楽紙」が23.2%、「インターネット上のコミュニティ(SNS)」が20.2%、「その他のインターネット上の記事」が19.4%という結果であり、インターネット関係の情報に対する信頼度が低いことがうかがえます。

8 災害時に避難を決めるのに重要視する情報をお答えください。

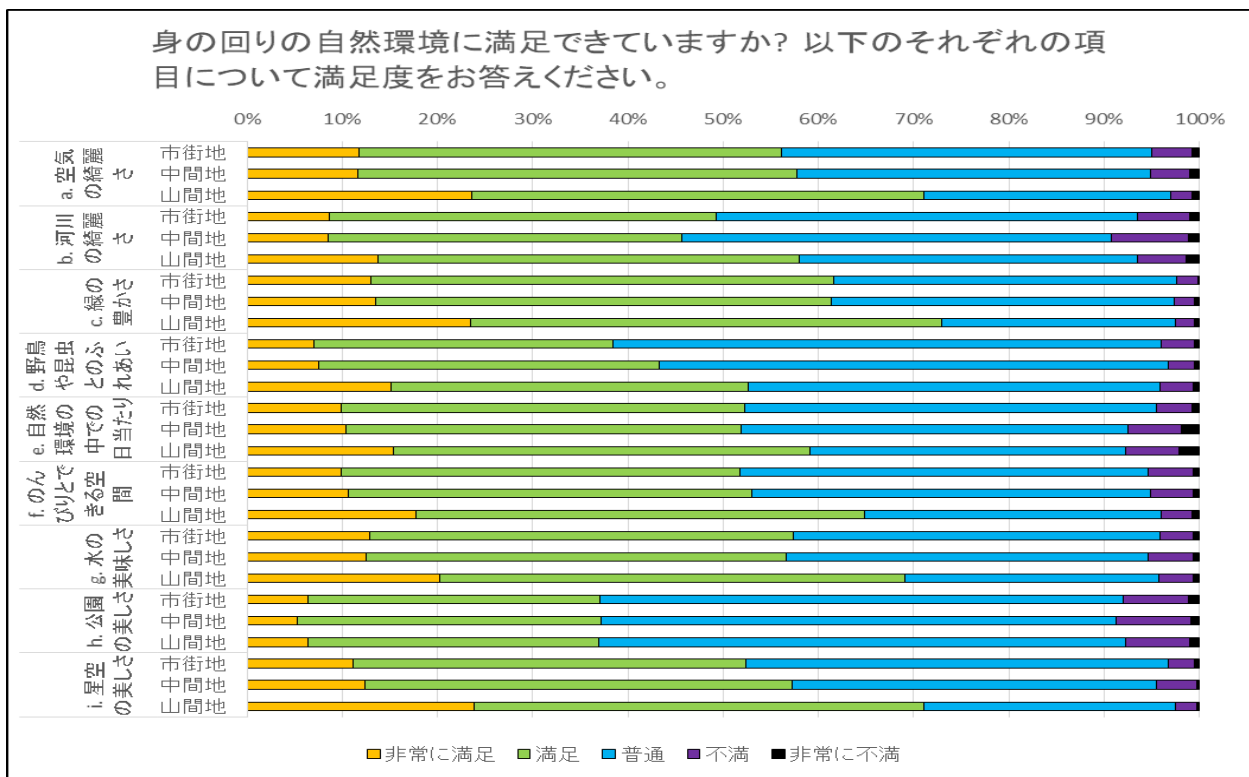
- a. 避難勧告
- b. 避難準備情報
- c. その他自治体の発表
- d. 気象庁等中央官庁の発表(注意報、警報等)
- e. インターネット上のコミュニティ(SNS)
- f. インターネット上の投稿サイト
- g. インターネット上の数値データ
- h. その他のインターネット上の記事
- i. 家族や友人との会話
- j. 自分たちで計測したデータ



災害時に避難を決める情報として「非常に重視する」「重視する」と答えた世帯が多かった項目は、「避難勧告」が83%、「気象庁等中央官庁の発表(注意報、警報等)」が80.6%、「避難準備情報」が79.8%、「その他自治体の発表」が77.4%でした。一方、「重視しない」「全然重視しない」と答えた世帯が比較的多かった項目は、インターネット関係の情報で、いずれも20%台という結果でした。全体的に、行政情報を重視している世帯が多いことがわかります。また、「自分たちで計測したデータ」を重視すると答えた世帯の比率が、山間地で圧倒的に高いことがわかります。

9 身の回りの自然環境に満足できていますか? 以下のそれぞれの項目について満足度をお答えください。

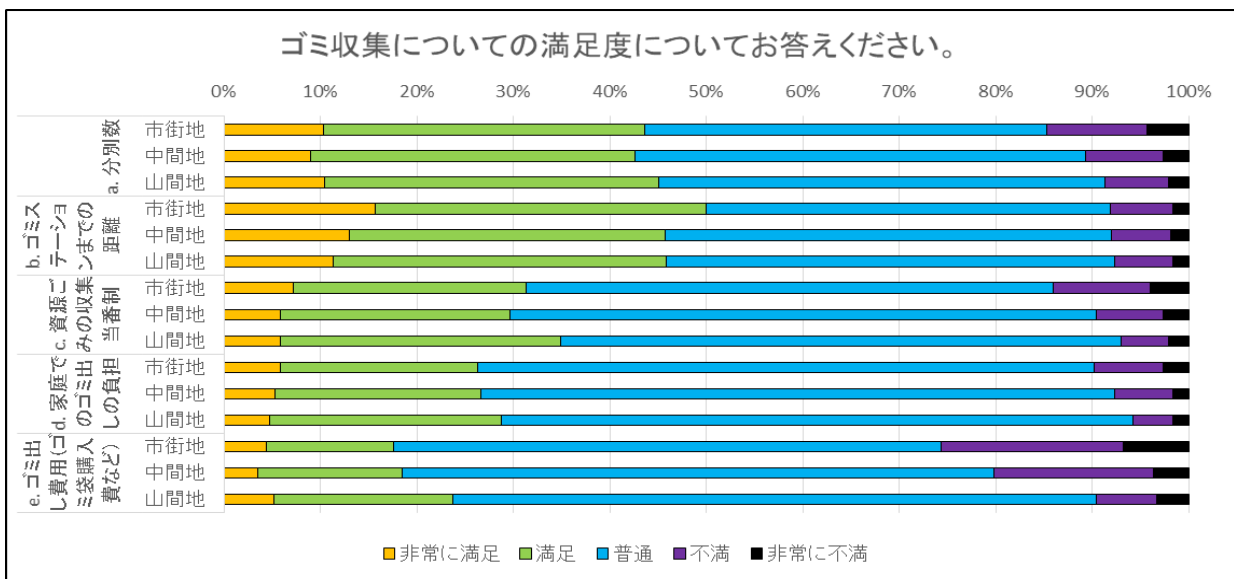
- a. 空気の綺麗さ
- b. 河川の綺麗さ
- c. 緑の豊かさ
- d. 野鳥や昆虫とのふれあい
- e. 自然環境の中での日当たり
- f. のんびりとできる空間
- g. 水の美味しさ
- h. 公園の美しさ
- i. 星空の美しさ



「非常に満足」「満足」と答えた世帯が多かった項目は、「緑の豊かさ」が全体の63.5%と最も多く、「水の美しさ」が59.2%、「空気の綺麗さ」が59.1%でした。また、山間地の方が他の地域に比べ、より自然環境に対する満足度が高いことがわかります。

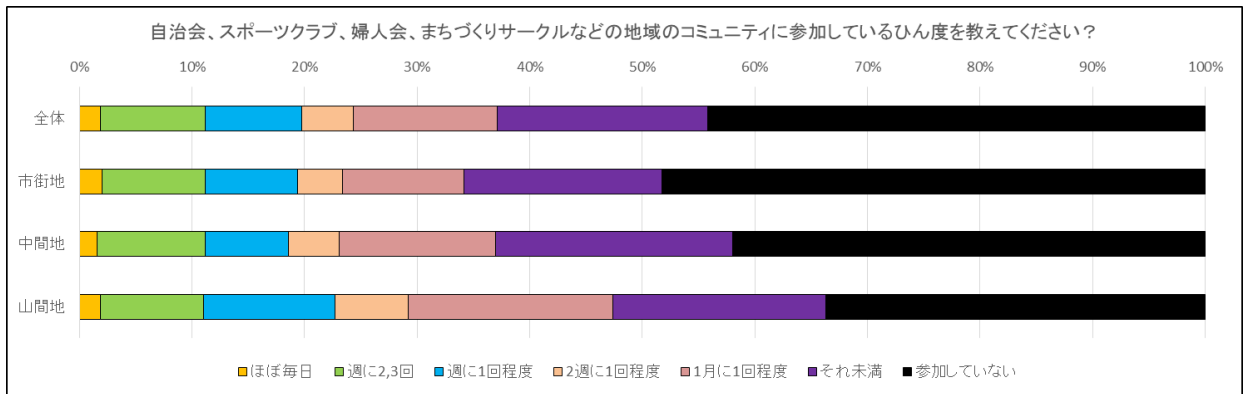
10 ゴミ収集についての満足度についてお答えください。

- a. 分別数
- b. ゴミステーションまでの距離
- c. 資源ごみの収集当番制
- d. 家庭でのゴミ出しの負担
- e. ゴミ出し費用(ゴミ袋購入費など)



「分別数」では、「非常に満足」「満足」と答えた世帯と「普通」と答えた世帯が同じ比率でした。「ゴミステーションまでの距離」では、「非常に満足」「満足」が48.2%、「普通」が43.8%でした。「資源ごみの収集当番制」では、「普通」が56.8%、「非常に満足」「満足」と答えた世帯が31.5%でした。「家庭でのゴミ出しの負担」では、「普通」が64.7%、「非常に満足」「満足」と答えた世帯が26.8%でした。「ゴミ出し費用(ゴミ袋購入費など)」では、「普通」が59.5%、「不満」「非常に不満」と答えた世帯が21.6%という結果で、市街地と中間地で「不満」と答えた世帯の比率が比較的高い結果でした。

11 自治会、スポーツクラブ、婦人会、まちづくりサークルなどの地域のコミュニティに参加している  
 頻度を教えてください？



「参加していない」と答えた世帯が最も多く、全体の44.2%でした。次に「それ未満(1月に1回未満)」が全体の18.7%でした。地域別に比較すると、山間地に行くほど参加頻度が高いことがわかります。